



令和2年度 村上中等教育学校第18期生  
 令和2年9月4日発行 第12号  
 題字：伊藤美咲さん（2-1）

## 生活リズムを整えよう

夏休みが明けて平常授業が始まり、2週間が経ちました。生徒に休み中の過ごし方を聞いたところ、家族で近場に出かけたり、バーベキューをして過ごしたり、暑かったので家でゆっくり過ごしたりなど、未だ全国的に自粛ムードがあるので、いつものようにはいかないけれどそれでもそれぞれの休みを満喫していたようです。しかしまだ夏休みから普段の学校生活へのリズムの変化がつかめず、心身共に疲れている生徒がいるようです。期末考査も近づいてきました。疲れている人は週末しっかり休んで充電し、いつもの生活リズムを取り戻すようにしましょう。そして日頃の授業への取組。学習規律がしっかりとしていると落ち着いて授業に取り組むことができます。集中して授業に取り組めるように、みんなで「頑張る勉強しよう」という雰囲気を作っていきましょう！

前期後半から後期前半のこの期間は1年で一番長い期間学校生活を送ることになります。それぞれがしっかりとした目標をもち、何事にも一生懸命に取り組み、自分の持ち味を十分に発揮してもらいたいと思います。様々な場面での皆さんの更なる活躍を楽しみにしています。

## NIEタイム開始！

本日よりNIE(「エヌ・アイ・イー」=Newspaper in Education)タイムが始まりました。NIEとは、学校などで新聞を教材として活用することです。「NIEタイム」では、毎週月曜日と金曜日の朝読書の時間に生徒が自分の興味関心で新聞記事を選び、切り抜き、ワークシートに貼り、意見や感想を書く活動を行います。継続して行うことで、活字に親しむとともに、読む力、書く力を伸ばすことができます。この活動をするために、御家庭の新聞を活用させていただきます。御協力をお願いします。

### 9月の主な予定

- 8日(火) スクールカウンセラー来校日
- 10日(木) **期末考査1週間前**  
部活動停止～17日
- 17日(木) **期末考査1日目**
- 18日(金) **期末考査2日目**  
スクールカウンセラー来校日
- 21日(月) 敬老の日
- 22日(火) 秋分の日
- 23日(水) 生徒会活動優先日
- 28日(月) **給食なし 弁当持参**
- 29日(火) スクールカウンセラー来校日



昨日、期末考査の計画表を配付しました。考査まで2週間を切りました。保護者の皆様には、生徒の学習の様子を見ていただき、励ましのお声がけをお願いします。

夏休みの計画や学習の記録など、提出物が出ていない人がいますので、確認して速やかに提出してください。

# 道徳の授業から

## リスペクトアザース

アメリカのサンディエゴ生まれの「僕」が幼い頃から教えられた「リスペクトアザース（他を尊重する）」について、日本に来たときに個性に対するカルチャーショックを受けたという話です。その話を通してどうして差別や偏見が起こるのか、これからの生活でそれらを持たずに過ごすには何が大切なのかを考えました。

### <差別や偏見を生む原因はどんなところにあるだろう>

- ・容姿や考え方の違いによって差別や偏見が起きていると思う。
- ・自分と相手の違うところを比べて否定してしまっているところ。
- ・自分や周囲と同じ人間だし、見た目や言語は違っててもその人の良いところはたくさんあるのに見つけられていないことが原因だと思う。
- ・その人の個性から生まれてしまうと思います。

### <感想>

- ・個性を尊重し合うことが大切。      ・違いを認め合うこと。
- ・「リスペクトアザース」を実践すること。
- ・人同士を比べたりせず、みんなの良いところを大切にしたい。
- ・アメリカで行われていた「リスペクトアザース」は世界中ですることが大切。
- ・最近、黒人が差別されているニュースがあり、どうしてこういうことがあるかと考えたいと思った。
- ・人はそれぞれ見た目も性格も違い、それを個性として尊重し合える社会になってほしい。
- ・どんなに違う文化でも差別は許されない。      ・差別や偏見をしないこと。
- ・周りの人の個性を受け入れることをいつも意識しておきたい。
- ・人への差別が一番いけないと改めて思うことができました。
- ・日常でもスポーツでもお互いに尊重し合って、お互いに高め合えるようにしていきたいです。
- ・一人ひとりの考えがあるからこそ、みんな違っていいと思うのに、それを軽蔑するのは良くないと思った。
- ・自分が変われば周りも変わるということが分かった。
- ・人権について深く考えるようにしたい。

私たちの生活の中で姿や行動、性格などすべてが自分と同じ人は存在しません。一人ひとりが自分の「個性」を持って生活しています。そしてお互いの「個性」をよく知り、互いに認め合っていくことが大切になってくると思います。これからのよりよい生き方につなげるためにお互いを認め合った中で、誰とでも公平に接していくことができるようになってほしいです。

